

第 8 回 知 多 市 教 育 委 員 会 臨 時 会 会 議 録

平 成 3 0 年 7 月 2 5 日

知 多 市 教 育 委 員 会

第 8 回 知 多 市 教 育 委 員 会 臨 時 会 会 議 録

招 集 年 月 日	平 成 3 0 年 7 月 2 5 日
招 集 場 所	知 多 市 役 所 2 階 教 育 委 員 会 会 室
開 会	午 前 9 時 3 0 分
閉 会	午 前 9 時 5 9 分
出 席 者	教 育 長 永 井 清 司 委 員 竹 内 聰 一 石 井 久 子 吹 原 美 香 山 田 直 行 出 席 した 職 員 教 育 部 長 岩 田 光 寿 生 涯 学 習 課 長 柴 山 利 之 生 涯 ス ポ ー ツ 課 長 堀 之 内 康 学 校 教 育 課 長 山 口 芳 徳 指 導 主 事 榘 内 勝 利 越 智 真 剛 事 務 局 学 校 教 育 課 森 真 哉
傍 聴 者	な し
議 題	議 案 第 1 9 号 平 成 3 1 年 度 使 用 小 ・ 中 学 校 教 科 用 図 書 の 採 択 に つ い て (協 議) 議 案 第 2 0 号 平 成 3 1 年 度 使 用 「 特 別 の 教 科 道 徳 」 中 学 校 教 科 用 図 書 の 採 択 に つ い て (協 議)
そ の 他	な し

1 開 会 出席者 5 人
第 8 回知多市教育委員会臨時会を開会する。

2 議 題

議案第 19 号及び議案第 20 号の審議は、非公開にすることを会議に諮り、委員全員の賛成を得たので、教育長が、議案第 19 号及び議案第 20 号の審議は、非公開とすることを宣告した。

(1) 議案第 19 号 平成 31 年度使用小・中学校教科用図書の採択について（協議）

(説明) 越智指導主事

平成 31 年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について、本日お配りした別紙のとおり知多教科用図書採択地区協議会から依頼がありました。

本提案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 4 項、第 5 項及び第 14 条並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 項の規定に基づき、小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択を求めるものです。

平成 31 年度使用の「特別の教科 道徳」小学校教科用図書及び「道徳を除く各教科」中学校教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第 15 条、愛知県平成 31 年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準に基づき、本年度と同一の教科用図書を採択することとなっております。

また、小学校の「道徳を除く各教科」については、平成 26 年度に採択され、規定の 4 年間を経過したための選定となっております。平成 32 年度に完全実施となる新学習指導要領に伴う教科用図書の選定が、来年度も実施されることを踏まえ、知多教科用図書採択地区協議会で検討した結果、内容の変更もなく適切であったため、平成 30 年度と同一の教科書を採択することを求めています。

知多市教育委員会におきましても、「知多採択地区での共同採択」という趣旨を踏まえ、同一の教科書を採択することを承認していただきたいと思っております。ご審議よろしくお願いたします。

(質疑・意見)

竹内委員

よろしいと思えます。

(採決) 全員賛成、原案採択

(2) 議案第 20 号 平成 31 年度使用「特別の教科 道徳」中学校教科用図書の採択について（協議）

(説明) 越智指導主事

平成 31 年度使用「特別の教科 道徳」中学校道徳の教科用図書の採択について、別紙のとおり知多教科用図書採択地区協議会から依頼がありました。

教科用図書の選定理由が、知多教科用図書採択地区協議会より届いておりますので報告します。

会社名は、教育出版です。内容としては、いじめ問題の教材がとても充実しており、いじめという言葉は前面には出さず、問題を多方面からアプローチがなされる工夫がされており、また、議論する道徳を踏まえまして、生徒同士で話し合いをしたり、考えを深めたりすることで、多角的・多面的な見方ができるように工夫されており、さらに、心のかがやき度で振り返りをシンプルに行えるようになっていて、学期に一度の振り返りを行えるシートが付属しております。サイズはB5版で、軽くて持ち運びしやすく、生徒が扱いものとなっております。

知多教科用図書採択地区協議会では、研究と採択をすすめ、7月18日に採択地区協議会として、以上のように選定をいたしました。「知多採択地区での共同採択」という趣旨を踏まえ、同一の教科書を承認するように求めています。ご審議、ご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

山田委員

各社の教科書を検討しましたが、教育出版の教科書が適切であるという結論に達しました。

検討した観点ですが、生徒が、記述する素材として、道徳ノートが付いているといい、あるいは、教科書の中に書き込むような場所があるといいというのがありましたが、成績を付けるということからすると、添削指導が必要であると思います。そうしますと、記述する場所が、教科書の中にあるというのは、添削としてはとても煩雑だなあと感じました。それに対して、道徳ノートが付くということは、添削は容易だと思います。ただし、実際問題として、教員が指導している形態を変えないということから考えると、題材に合った学習プリントを作るほうが、現実的であると思ひ、道徳ノートはあるにはあるが、それを単純に使うというかたちが本当に浸透するかなあと考えると、別になくともそんなに支障がないのかと思ひました。いずれにしても、指導者が添削指導するということからすると、教科書の中に書き込むというスタイルは、あまり、活用上は、現実的でないと思ひました。ですので、そういう観点からすると、いくつかの教科書は、私にとっては、扱いにくいと思ひました。

内容についてですけれど、これは大事で、内容は、生徒が対話するための題材です。素材になります。そうしますと、一つの内容が、物語として完結する必要はないことになります。したがって、文書量が多いのは、物語として完結すべき内容というのは、指導するほうとしては必要ではないと思ひます。さらに、中には、生徒が、自学自習できるような展開になっているのですが、これも、対話の題材と考えるとそこまでの必要があるのかと思ひます。あとは、題材の内容というか、話の中味ですけれど、それは、それぞれあるなあと感じました。各教科書で共通した読み物がありましたけれど、そのことについては、見方はいろいろだなあと感じました。

以上のことから、内容的には、この話を生徒の前で対話させたいなあと話もありますが、総合評価として、教育出版になりました。

竹内委員

教育出版、光村図書、東京書籍の3つを見させていただきました。まずは、扱いやすさですが、具体的には、サイズ、重さ、文字の大きさなどですが、各社、さまざまでした。その中で、比較検討した結果、私は、教育出版が、見やすさということを含めて、よいと思ひました。

次に、内容ですが、教育出版は、文章のレベルが非常に高いと思ひます。感情移入の度合いといえば、ここが一番高いという感じがします。続いて光村図書ですが、どちらかというと、中学生の視点で書いている文章が多い。偉人伝のようなものを読むよりは、自分

たちの視点のものということは、とってもいいなあと思いました。東京書籍は、一つのテーマの文字数が多くて、共通認識っていうか、読んでいるだけで1時間が終わってしまうよう思いました。その点では、教育出版は、文字数が少なく、10分くらいで読んで、あとは話し合おうという感じです。そういうコンセプトがはっきり分かって、話し合おうといっているのであれば、これくらいのテーマの内容だけでいいと思います。光村図書は、両者の中加減です。

教育出版は、小学校の教科書のときに、安倍首相のボブスレーを載せていましたので、その点はどうかなあと思って注意して見ましたが、今回はそのようなものはありませんでしたのでよかったです。ただし、郷土を愛するとか、日本が好きになるとか、そういうことをいっぱい言っています。それで、巻末のところに、各県の偉人の話があります。確かにそうだとは思いますが、中学生であれば、日本だけでなく、世界中から心に響くことを載せてあってもいいと思います。小学校の教科書の採択のときに、社会科の産業問題で、風車の写真が出ていました。日本もこうやっていますということですが、風車は、日本ではあまりなくて、ドイツやノルウェーなどのヨーロッパのほうが、自然環境ということで、多く取り組んでいますので、そういうものを載せたらいいと思います。今の時代、日本だけということはどうでしょうか。そういうところはちょっと気になることです。

決め手としては、やっぱり、文書レベルの高いこと、それから非常にコンパクトであること。文書レベルの高い、要するに、よい話を短くするのは、とってもえらい作業です。これがコンパクトにまとまっていて、生徒に話し合いの時間を取ろうというコンセプトが伝わってきたことで、教育出版に抜群の価値を感じました。

吹原委員

保護者としての目線で読ませていただきましたが、内容的には、どの出版社も、いのち、いじめ、いじり、差別をテーマにしたものや実話も多くあって、また、字ばかりでなくイラストや的確な写真とかが使われていて、読みがいがあるなと思いました。なお、教科書の重さ、サイズについては、いろいろ持ってみて、B5判の小さくて軽いものが扱いやすいと思いました。

副題のある教科書が印象に残りやすく、中には、学年ごとに副題が、全部のタイトルが違うものもあって、インパクトがあるなと思いました。教育出版の最後のページに、1年生のものにはどんな2年生になりたいか、2年生のものにはどんな3年生になりたいかということが、生徒が記入できるようなページが作られていて、3年生のものには、そして未来へっていう、生徒が書くページが作られていて、高校へ行ったり、就職したりと、いろいろな時期に自分のことを考えて書くことができる。それが「とびだそう未来へ」というところにつながっていく感じとかもいいなと思いました。

石井委員

私も、みなさんと同じような目線で見させていただきました。実際に、現実的な話っていうのは、対話がしやすいので、そういうものが取り上げられているなっていうふうには思ったのですが、ちょっと、道徳の本を読みながら思い出したのが、童話でも議論をすることができるという経験があったことです。私が、「しろいうさぎとくろいうさぎという本が大好き」って友だちに言ったら、「私、大嫌い」って言ったことを思い出しました。しろいうさぎとくろいうさぎってとても仲良しのうさぎさんなのだけれど、毎日一緒に遊んでいるのですが、ある日、男の子のうさぎさんが、女の子を意識し始めるっていうような話なのですよね。私は、そのほんわかしたのが好きなのだけれど、友だちは、はっきり言わないのが嫌いっていうことで、すごい議論になったということがありました。また、同じ友だちなのですけれど、友だちが、「新美南吉の手袋を買いにという本が好き」って言

ったら、その友だちが、「一番嫌い」って言うのですよ。お母さんが、自分が危険だっと思っているところに、自分の子どもに冒険させるっていうのがいかんでしょって、友だちが言うのですよ。で、私は、「いや、お母さんは、最後に人間もいい人がいるのだねっていうふうに思えたのがいいでしょ」って言ったら、「えっ？そんなの子どもにそんなこと、危険なことさせて実験してだめじゃない」みたいなことで議論になったことがありました。そういうことでも議論になるので、話の内容にボリュームがあるだけで、道徳の教育っていうのはどうかなって思いました。扱いやすさや重さなどを考えると、文章の長いものばかりがいいものじゃないなっていうのも感じながら、読ませていただきました。

永井教育長

自分も見ている、例えば、学研みらいは、A判ですから挿絵なんかとってもダイナミックでいいなと思うのですが、ちょっと重いなっていう気がします。光村図書は、読み物としてはおもしろいです。国語の教科書を作っているところなので、それなりによいのですが、教材としては長いです。だから、1時間でやれるのかなって、ちょっと思っています。1時間で終わらなくて、作者が、何を言いたいのかで終わってしまうように思いました。東京書籍は、変形AB判で、横書きだと変形の余分なところにグラフだとかいろんなものを書けるのですが、道徳は縦書きなので、結局、行数が増えることになります。それから、一年生の最初の教材にリード文があるのですが、とても小さい字で、そして、それから本文に入っていくのですが、本文も小さい字で、6年生から中一になったときに、ちょっとびっくりするかなって感じました。これだけ小さくて細かい字が出てくるのは、どうなのかなって思いました。

どこの教科書もいじめがきちんと取り上げられていました。その中で、東京書籍は、パッケージで、3時間連続でいじめを扱うようになっていました。生徒も3週連続でいじめのことをやって、後は、そのまんまというのは、ちょっと苦しいかなと。現場で、もしやるとしたら、苦しいかなって思いました。後は、銀色のシャープペンシル。あれは、ほとんどの教科書に入っていました。それから、不朽の名作みたいな「壁の向こうは」は、教育出版だけでした。イスラエルの病院の話ですが、とってもおもしろいなって思いました。

トータルでみると、大きさから中味までで、教育出版が、一番いいかなというように思いました。

(採決) 全員賛成、原案採択

3 自由討議 なし

4 閉 会 午前9時59分 第8回臨時会を閉会
次回は、8月10日(金)午前9時30分から第9回定例会を予定
知多市教育委員会会議規則(昭和45年教委規則第2号)第14条の規定により、ここに署名押印する。

平成30年7月25日

(教育長) _____

(委員) _____

(委 員) _____

(教育部長) _____